

新鎌ヶ谷特定土地区画整理事業の概要

「新鎌ヶ谷駅」は、北総線・東武野田線・新京成線・成田スカイアクセス線の私鉄4線が乗り入れ、1日の乗降客数が約10万人の総合乗換駅です。また、柏、松戸、船橋及び津田沼といった県内主要都市へいずれも15～20分で到着できる距離にあるとともに、成田空港や都心まで直接行くことができるなど、公共交通環境に優れております。

この新鎌ヶ谷駅を中心とする約59.1ヘクタールを千葉県北西部の新たな広域交流拠点として、独立行政法人都市再生機構（旧都市基盤整備公団）を施行者として、特定土地区画整理事業を実施しました。

当事業は、計画人口を1,810戸・5,700人とし、平成3年に都市計画決定、平成7年に事業認可を取得し、平成16年にはセンター地区の街びらきを行いました。その後、平成21年に換地処分を終了させ、平成26年3月31日（清算期間5年含む）をもって事業完了をしております。

現在では、センター街区にある大型商業施設や駅周辺における飲食店の立地等により、市内外から多くの方が訪れております。

事業スケジュール

